

高齢者介護の仕事は、利用者の急変や事故によって命に関わる場面に遭遇することも少なくありません。そのため、介護職には不測の事態に対して迅速かつ的確な対応が求められます。

【試験の状況】

あなたはサービス付き高齢者向け住宅の責任者です。現場スタッフに緊急時の対応力を身に付けてもらうため、食事中に起こりうる事故として「誤嚥による窒息」を想定した勉強会を行うことにしました。

試験官を現場スタッフに見立て、下記の場面を想定し、**講義・実演**してください。

【場面設定】

朝食時（7:00）、食堂で食事を召し上がっていたお客様が、パンを誤嚥しテーブルに伏せているのを発見しました。

発見時の出勤者は、現場リーダーと他スタッフ2名（内1名は入社3ヶ月の新人）の計3名です。

※9:00まで新たに出勤してくる者はおらず、それまでは上記人員のみという状況。

【問題】＜設定時間／5分＞

試験官を勉強会に参加している現場スタッフに見立て、以下の項目について**講義・実演**してください。

- ① 誤嚥による窒息状態を発見した際の対処方法
- ② 他スタッフ2名（内1名は入社3ヶ月の新人）がそれぞれにとるべき動き

[注意点]

※会場にはホワイトボード、マーカー（赤・青・黒）を用意しています。

※モデルの使用については、自身で判断し、使用する場合は試験官にモデルを要請してください。

【メモ】